

つくりだそう自治の力で明るいまちを

現況	地区自治会連合会数	18
	自治会数	433
市人口	629,134人	加入世帯数 159,987世帯
世帯数	258,493世帯	班(組)数 10,606
面積	90.40km ²	
	人口・世帯はH.18.2.1現在	H.17.4.1現在



米軍基地強化反対

市民大会を開催

大会とデモ行進に1,200人が参加



昨年10月末に示された在日米軍再編に伴う中間報告では、キャンプ座間への米陸軍第一軍団司令部の設置や相模総合補給廠への陸上自衛隊普通科連隊1,300名の配置が盛り込まれるなど、昨夏、米軍基地の返還と地元優先の跡地利用を求めて署名した21万人を超える市民の意向を全く無視したのとなっていました。このため、市自治会連合会では地元無視の中間報告の撤回を求めるための大会を、1月29日(日)にJR相模原駅隣接の公園で行いました。当日は、市長・市議会議長を始め、国会・県会・市議会議員など多数の方が駆け付けられ激励をいただきました。政府関係機関への要請文の採択等を行った後、補給廠外周道路約2キロを「基地強化に反対」「補給廠の空き地を返せ」などとシュプレヒコールを繰り返しながらデモ行進しました。

大会で採択された要請文を、2月3日(金)三橋豊市連合会長ほか理事10名が防衛庁・外務省を訪れ手渡しました。

3月に予想される最終報告では、地元住民の意向を真剣に受け止めた取り組みをするよう強く申し入れました。(関連記事3面に掲載)

むかし 昔 No.36 橋の名の由来

新磯地区
新戸山自治会長 泰弘

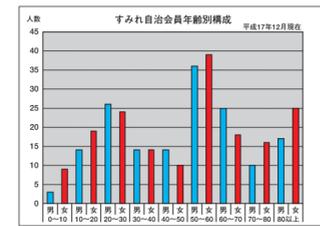
新戸地区を一般河川の鳩川が流れている。城山町の境を源に下流で姥川、道保川と合流し海老名で相模川に流れ込む全長約22kmの川である。一時、相模原でも最も汚染されている川と言われていたが、最近では魚影も濃くなり時々小鯊やかわせみが魚とりをし、又季節になると鴨の親子がゆつたりと水草をついばんで

は現在、武井橋、妙築(みよ)うでん)橋、四国橋が架かっている。江戸時代の地誌に、竹井橋、妙典橋、川久保橋の三つの土橋が架かっていたとの記録がある。橋の名も時代と共に変わり、武士の名に由来のある竹井橋は武井橋、尼

飾り付けが変わり、また、時々、地域の方々が陽のぬくもりの中、長いすに腰掛けてのんびりと談笑されている。その昔、四国に縁のあった方はこの橋でどのような会話を楽しんでいたのだろうか。

現在の四国橋周辺

昭和38年頃の四国橋周辺



地域活性化を目指し 毎月「金曜の夕べ」開催
清新地区 自主会 大貫 信行

我がすみれ自治会は、昭和23年開業住宅として発足した伝統ある100世帯余りの小さい自治会です。

清新地区を開拓された第一世代の方は80歳を超え、第二世代(50、60歳前後)が世帯の中心となっており、年齢別構成は図のように各世代の中層が少なく平均化しておりません。

今後、第三世代の方が結婚適齢期を迎え、後10年位で第四世代が多く誕生するものと期待しています。

昭和53年に集会所を建設しましたが、老朽化のため平成15年10月新集会所を改築いたしました。この集会所を大いに活用し地域の活性化を図るため、毎月第3金曜日の夜「金曜の夕べ」を開催しております。懇談会やカラオケ等で楽しく過ごし、地域親睦の増進と活性化の一助になればと思っております。

少く平均化しておりません。今後、第三世代の方が結婚適齢期を迎え、後10年位で第四世代が多く誕生するものと期待しています。

昭和53年に集会所を建設しましたが、老朽化のため平成15年10月新集会所を改築いたしました。この集会所を大いに活用し地域の活性化を図るため、毎月第3金曜日の夜「金曜の夕べ」を開催しております。懇談会やカラオケ等で楽しく過ごし、地域親睦の増進と活性化の一助になればと思っております。



恒例の餅つき大会

中央地区 矢部第四自治会長 青木 守市

12月4日(日)恒例の餅つき大会を開催しました。

毎年12月の第一週の日曜日に開催している餅つき大会は、恒例の餅つき大会は、つきたての美味しいお餅を地域の子どもたちが食べ、喜んでもらうために、地元の野球場矢部インディアンスの皆さんが好意で始めたものです。

その後、矢部第四自治会の大切な行事になりました。会場の「矢部四クラブ」に一般会員4つの子どもの会、また役員合わせて200人程集まりました。

餅米や材料の購入は婦人部が担当し、前日から餅米を仕込みました。

当日は早朝から矢部インディアンスや役員が餅つきの段取りに入り、つぎ上がったお餅は、婦人部と子ども会のお母さん方が割り、きな粉、大根おろしで手際よく調理、大根おろしをいきました。

順序よく並んでお餅をいただいた子どもたちがその場で食べて美味しかった。歌声があがり、つきたての小さい子どもたちは小さい子どもたちを交えて、つぎは大人も子どももプロ級の大人に教わり、きれいな餅師の楽しさ一歩で

無線機による情報伝達訓練を実施

大野南地区 竹川自治会連合会長 竹川 一夫

最近、中越地震やスマトラ沖地震など大地震が続いています。県下にはいくつかの活動層があり、周期的には東海地震を含め大地震が発生する可能性があると警戒されていることから地区連では、昨年7月中越地震の震源地である川口町を視察しました。

道路は寸断され電話、携帯電話も機能せず、孤立した地区の情報収集が災害時の大きな課題であることを実感しました。これを契機として、情報取

集手段として無線機の導入を決め地区内全域を移動して数種類の交信実験を行い、届出の必要な高性能無線機を購入し、各自の家に配布しました。

9月26日に実施した情報伝達訓練では、市南合同庁舎5階に自主防災隊本部を開設し、無線機による被災状況の交信訓練を地区内32単位自主防災隊と行いました。

今回の訓練は2チャンネルを使用し、区域を班に分けて想定被害の報告や対処方法の指示等が交信は30分程度で終了しました。

無線機で地区内全域の情報収集が充分可能であることが確認できました。

豊原自治会では、約340世帯と小規模な自治会です。特色のある行事としては、例年12月に豊原自治会館に於いて「餅つき大会・文化祭」を開催して、餅つき大会です。昨年は、第36回目を迎へ自治会役員一丸となって実施しました。餅つきは、60キロの

「餅つき大会」文化祭

和やか、盛況に開催! 相模原地区 豊原自治会長 宮城 一郎

もち米を炊き、2基の臼で年配の会員達が汗をかきながら交代で餅をつきました。つきたての餅(きな粉・ゴマ・あんこ)は餅つきの間に振舞われ、皆さんが美味しく召かた。また、自治会館の室内では、文化祭を開催しました。会員達の力作が多数出品され、「書道・絵画・編物・生け花・盆栽その他」約150点がところ狭しと展示されました。出展会場には、約200人の自治会会場の入場者がありました。餅つき大会・文化祭もこうして盛況の中、和やかなうちで終了しました。ただ、私達の自治会も最近、高齢化が進行し、準備や当日の役割も大変なところですが、役員も大要となってまいりましたが、会員同士の親睦や近所付き合いのきつかけづくりに、欠かせない行事と思って頑張っています。反省会では、役員30人が懇談しながら、来年の開催に向け熱心に話し合いました。

隊の役員は通常の自治会組織とは別に編成されており、全体で約200人のリーダー(班長)がいる。毎年11月に自治会独自の防災訓練を実施しているが、平成14年の訓練から全世帯参加を基本としている。負傷者の搬送や救命応急措置等の訓練は全世帯参加とはならないが、安否確認は全世帯対象で行っている。

訓練は時報に合わせて、市の防災放送設備を利用し開始のアナウンスをし、班長は会員宅を回って安否確認を行い、リストを集計して各区の隊長に報告し、隊長はこの情報をとりまとめ自治会防災部長に報告を行う。また、新聞販売店の協力で、区域内の災害状況等の情報提供を得ることとなり、「バイク隊」と呼んでいる配達員は、情報提供の強力な支援部隊として期待されている。本部は

全員参加の防災訓練を目指して

東林地区 翠ヶ丘自治会長 櫻井 孝道

私達の自治会は、防災意識の向上を目指して、全員参加の呼びかけのもと防災訓練を行っています。

阪神・淡路大震災以降、自治会内の防災意識の徹底と自主防災組織の確立のため、平成12年3月に「自主防災対策会議」を立ち上げ、民生委員、建築家、消防団員、医療従事者、ホテルやアパートの防災担当経験者などが構成員となり、「自主防災対策要綱」を策定しました。

この要綱に基づき、約千世帯を7区に分け、各区内に自主防災隊を設置し、さらに、20世帯程度を班として細分化し、班長を確保して、この防災

隊の役員は通常の自治会組織とは別に編成されており、全体で約200人のリーダー(班長)がいる。毎年11月に自治会独自の防災訓練を実施しているが、平成14年の訓練から全世帯参加を基本としている。負傷者の搬送や救命応急措置等の訓練は全世帯参加とはならないが、安否確認は全世帯対象で行っている。

訓練は時報に合わせて、市の防災放送設備を利用し開始のアナウンスをし、班長は会員宅を回って安否確認を行い、リストを集計して各区の隊長に報告し、隊長はこの情報をとりまとめ自治会防災部長に報告を行う。また、新聞販売店の協力で、区域内の災害状況等の情報提供を得ることとなり、「バイク隊」と呼んでいる配達員は、情報提供の強力な支援部隊として期待されている。本部は

安否確認報告書に基づき集計し、救護要請がある区には、救護班が直ちに向かうシステムになっている。

平成14年度から始めた安否確認訓練には、この2年は約8割が参加したが、今後、全員参加を目指して防災意識の高揚に努力していきたい。

お問い合わせは、
相模原市自治会連合会事務局
〒229-7533 3-4-19
E-mail: jichiren@whiteocean.jp

自治会報さがみはら
編集委員
岸 久夫 吉山 茂利
坂井 敏克 前田 尚徳
笹野 賢司 武井 弘吉
大貫 作治 橋本 善伸
小保 博由 橋本 正明

「自治会報さがみはら」は、皆様の会報です。自治会、地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

